

研究機関名：帯広厚生病院

課題名	<p>新生児ループスの患者様の臨床症状と検査結果の経過を 医学学会および医学雑誌に発表する</p>
オプトアウト文章	<p>新生児ループスは経胎盤的に母体の自己抗体が胎児に移行することにより発症します。しばしば報告されている症状は心伝導ブロック、皮膚症状、血球減少、肝機能障害であり、時に水頭症を合併することがあります。</p> <p>今回、私たちが医学学会および医学雑誌に報告させていただきたい患者様は、非特異的発疹、肝機能障害、高フェリチン血症を呈し、肝MRI検査でび漫性の鉄沈着を合併し、新生児ヘモクロマトーシスと鑑別を要しました。新生児ループスでこのような症状を認めることは極めて希少であるため、医学学会および医学雑誌に患者様の臨床経過と検査結果を発表させていただくことは、同じような症状を持つ他の患者様の診療にとって非常な貴重で有意義なことです。発表に当たっては患者様のお名前や生年月日また居住地などの情報は除いた状態で行うため、患者様とご家族の個人情報をご特定することはできません。同じような症状で心配されている患者様とご家族、さらには診療にあたっている医療従事者のために発表にご協力ください。</p> <p>当研究にご協力いただけない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。当研究にご協力いただけない場合でも患者様とご家族が診療上の不利益を被ることは一切ありません。</p> <p>当研究は本来、患者様とご家族に直接に面談して説明してご同意をいただくべきものですが、ご家族にどうしても連絡が取れなかったため、ここに掲載させていただきました。</p>
研究の対象	新生児ループス症で特異な症状を呈した患者様
利用する試料・情報の種類	<ul style="list-style-type: none"> ■診療情報（詳細：年齢、性別、妊娠経過、在胎週数、出生体重さらに臨床経過、母体の病歴、妊娠・出産歴） ■手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：皮膚生検結果） ■血液 血球数、肝腎機能、鉄、フェリチン、自己抗体など ■その他 胎児エコー検査、心エコー検査、肝画像検査
研究組織	<p><主研究機関></p> <p>帯広厚生病院 小児科 植竹 公明</p> <p><共同研究機関></p> <p>発起同大学病院 小児科 鈴木 祐人</p> <p>北海道大学病院 小児科 山田 雅文</p>
研究資金	当研究は、いずれの団体および企業からも資金提供を受けていません
お問い合わせ先	<p>研究責任者</p> <p>〒080-0024</p> <p>帯広厚生病院小児科 植竹 公明</p> <p>TEL：0155-65-0101, FAX：0155-65-0105</p>

